

PET-CT検査

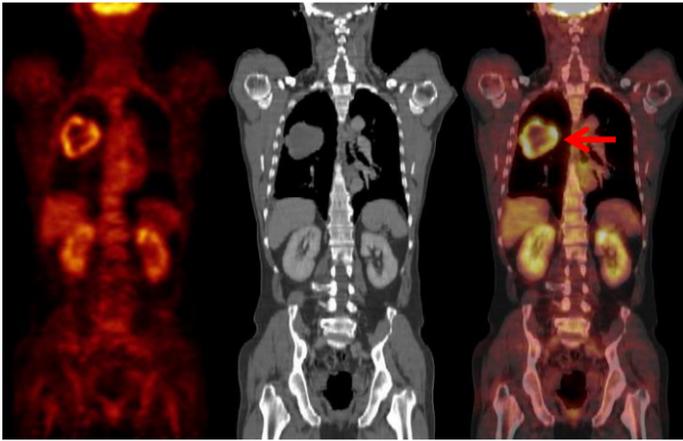
ドイツ・シーメンス社製、最新PET-CT装置
(Biograph Horizon) を導入いたしました。
がんの早期発見に有効な高性能装置です。
既設のPET装置3台に加え4台体制で画像診断にあたります。

PET-CT検査とは

放射性薬剤を注射して、その薬剤の腫瘍への集まり方により体の機能を撮影するPET検査と、臓器の形状を撮影できるCT検査を組み合わせ、1回の検査で両画像を重ねて表示することができます。機能情報と形態情報の重ね合せにより「がん」のより正確な診断に威力を発揮する検査法です。



肺がん



PET画像

CT画像

PET-CT画像

何がわかるの？

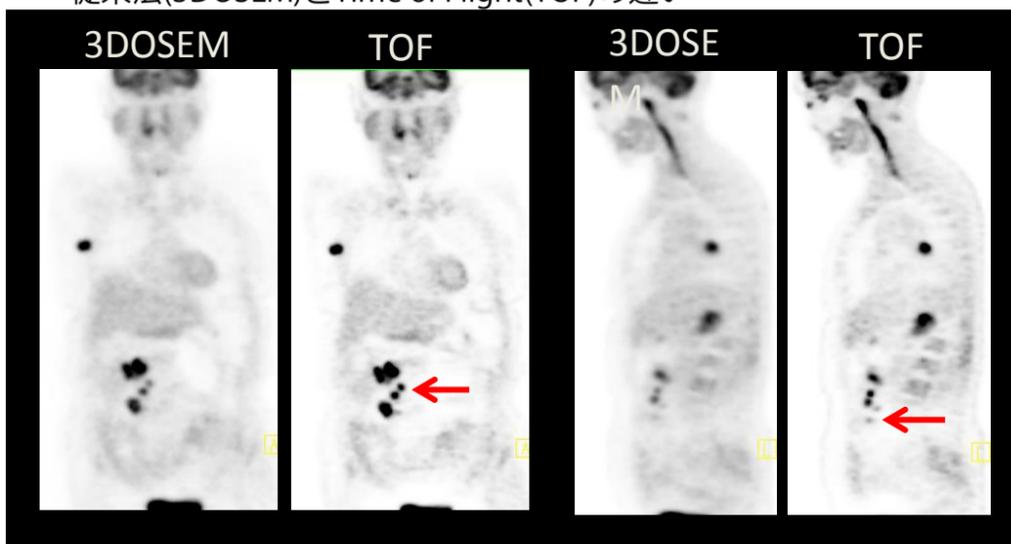
- ・全身の病巣診断（がん、炎症）
- ・腫瘍の大きさ、場所の特定
- ・良・悪性の区別や転移状況
- ・治療効果の判定、再発診断など

【シーメンス PET-CT Biograph Horizonの特長】

- ・超高感度 LSOクリスタル検出器によるより鮮明な画像
- ・ノイズを大幅に低減できるTOF(Time of Flight)法を導入
- ・CTの金属アーチファクト低減機能iMARによりFusion画像の診断能向上
- ・呼吸同期システムにより呼吸性移動の多い下肺や上腹部の診断能向上
- ・感度分布が均一となる連続寝台移動機能Flow Motionを搭載
- ・ご依頼先様でもSUV値測定ができる画像データの提供が可能

PET画像再構成

従来法(3DOSEM)とTime of Flight(TOF)の違い



TOFにより細かな集積も明瞭に描出

CT金属アーチファクト低減技術

従来のCT画像



iMARあり



金属アーチファクトの少ないCT画像で診断能を向上